



ほしぐみだより 5月号

令和2年5月7日
練馬区立光が丘保育園
ほしぐみ担任



新年度が始まりましたが、登園自粛が続いており、クラスのお友だちと会えない日々が続いています。家庭にいるお友だちは、どうしているかな、と思いを巡らせている子ども達です。保育園は少ないお友だちの登園となりましたが、すずらん組、ちゅりっぷ組、つき組、おひさま組とその日によって、いろいろなクラスのお友だちと一緒に過ごしています。

今月のねらい

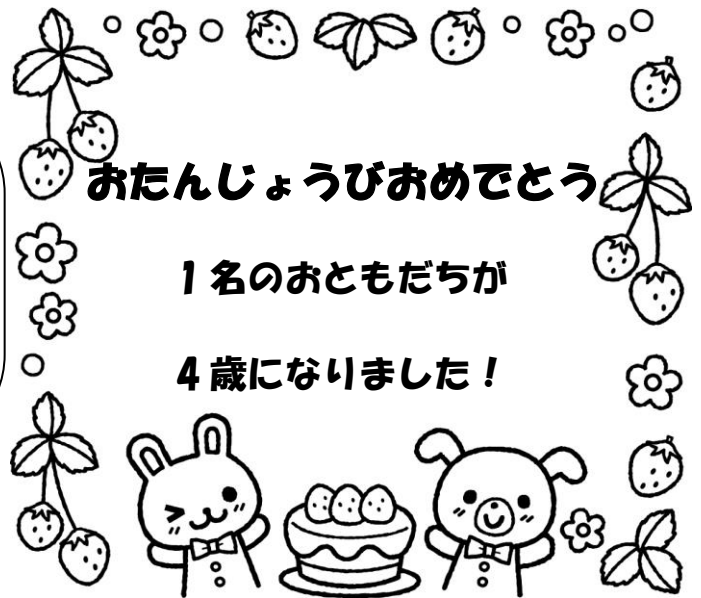
- 手洗い、うがいをこまめにおこない、健康的にすごす。
- 一日の流れが分かり、簡単な身の回りにことを自分でしようとする。
- 身近な自然に触れながら、戸外遊びを楽しむ。

みんな大好き、う〇こ

子ども達から、「先生、これ読んで」と絵本を渡されることが度々あります。中でも、頻繁に渡されるのは「うんこちゃん ようちえんへいく」です。かんたろうのお尻から出てきた、うんこちゃんの心温まるストーリーです。読み終わった側から、「もう一回」とリクエスト。ページのあちらこちらに、ちりばめられている小さなかわいいう〇こを探す楽しさがあったり、うんこちゃんの名台詞「だしなさいよ」に、なぜか心惹かれる響きがあたりと、中々奥が深い絵本です。

今、子ども達は、トイレで排泄することに意識が向き始めている時期です。う〇こは、子ども達にとって大きな存在感があるのでしょうか。絵本で「う〇こ、う〇こ」と連呼されれば、それは興味をそそられると言うものです。子ども達が満足するまで繰り返し読もうと思います。

ちなみに、「ぼくのトイレ」と言う絵本も人気です。



パズルに苦戦

合同保育となり、他クラスで遊ばせてもらおうと、自分のクラスにはない珍しい玩具に夢中になる様子が見られます。

おひさま組（5歳児）で遊ばせてもらったことです。恐竜のパズル、3Dの恐竜パズル、ねこのパズルと数種類のジグソーパズルがあり、意気揚々とピースを広げるほし組の子ども達でした。でも、ジグソーパズルを広げたはいけれど、どれから嵌めればいいのか、ほし組さんにはちょっと難しかったようです。早々に広げたものを片付けて、絵本に切り替えていました。

少ないピースから始め、いつかおひさま組のパズルに挑戦できるよう、一緒に遊びながら応援していこうと思います。